

農業



秋冬の収穫に備えて、ブロッコリー、大根、白菜、芽キャベツの種を植えました。大根は畑に直接、種を蒔きましたが、他は育苗ポットに植えました。ある程度大きくなるまで、ポットで苗を育て畑に移植します。公園外に出る前に、畑に立ち寄り水やりをしたり、草むしりにいたりするなど、丁寧に育てています。今から収穫が楽しみです。



えーる油山では、菜根譚さん(月・水・金・土)と花の花さん(火・木)の2事業所からお弁当を配達していただいています。仲間たちはお昼に食べるお弁当を、毎日楽しみにしています。お弁当は直前に温めているので作りたての美味しさです。

みんなのお楽しみ  
昼食時間

かわらばん

かわらばん

障がいがあっても地域のなかでふつうの生活を

**防災訓練動画の視聴を行いました**  
毎年実施している火災避難訓練ですが、今年は新型コロナウイルス感染症予防のため中止となり、職員のみで動画視聴を行いました。防災意識を高め、いざという時に適切な行動をとるための良い学習機会となりました。

新商品決定!

春夏の商品をたくさんお買い上げいただきありがとうございます。タオル・ポーチともあと少し残すのみとなりました。秋冬商品は9月末にカタログが完成予定です。お年玉にも活用いただけるポーチ袋とカレンダーです。

事の始まりが特別支援学校卒業後の進路保障からスタート。法制度の改革の波にもまれ、行政に働きかけ、仲間や家族のニーズに合った制度づくりを行ってきたところは、当法人が歩んできた道に近しいと感じた。それぞれの人生を明るく送れる地域社会づくりを目指して、「福祉の受け手から担い手となる」発想が、親たちの新しい未来を切り拓いていくのだろう。「運動と実践」この両輪の持つ意味が大きいことを改めて職員間で共有したい。佐々木 篤

運動と実践



長コラム  
施設

自主研修でドキュメンタリー映画「普通に生きる」を職員で視聴する機会を得た。静岡県富士市にある生活介護事業所「でらーと」を舞台にしたドキュメントだった。ここには医療的ケアを必要とする仲間が多く、生活支援員の他に看護師も常勤し、毎日、それぞれの障がいや個性に合わせたプログラムで日中活動を支援している。

出店情報

おもちゃ箱マルシェ

9月はコロナウイルス感染防止のため、参加を控えます。

フェーリ

ふくふくプラザ1階

授産品のセレクトショップです。えーる油山の商品が多数並んでいます。来所の際は覗いてみてくださいね。



日常のひとコマ

今年の春夏授産品カタログ販売でも大人気だったフェルトコースターの作成風景を紹介します。仲間がフェルトの色選び、成形・梱包作業に携わっています。手作りで作成しているため、色合いや模様が異なり、1枚1枚がオリジナル商品になっています。



羊毛の色を選びます



羊毛を計量器にのせて、4g量ります



固まっている羊毛を3~4回に分けてほぐします



ほぐした羊毛を器に入れてお湯を注ぎ形を整えます

ウインドウ展覧会 番外編



石橋弘崇さん

あーす保育園さんのロビーに展示していただいている、えーる油山の仲間の絵の貼り替えに行っています。今回は石橋弘崇さんの「りんご」を展示させていただきます。この絵は、春夏授産品販売のポムポーチのデザインになった原画です。たくさんのかたに観てもらう機会をいただけてありがたいご縁です。ありがとうございます。

2022年9月1日発行

社会福祉法人葦の家福祉会  
多機能型障がい福祉サービス事業所

えーる油山

〒814-0155  
福岡市城南区東油山1丁目6-39  
TEL.092-834-8900  
FAX.092-834-8910  
e-ru@sage.ocn.ne.jp

発行責任者 佐々木 篤  
発行担当者 山内恵美子  
大淵 真緒

今月の題字/中村 照生さん